

◆◆ 関東地方整備局の動き ◆◆

1. H22 年度優良工事等局長表彰について

関東地方整備局では、平成22年度に完成した工事、完了した業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者等について、平成22年度優良工事等表彰式を下記により執り行いましたのでお知らせいたします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku_00000335.html

2. 関東地方整備局管内の直轄河川の被災状況及び復旧状況の更新について

東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)における関東地方整備局管内の直轄河川の被災状況及び復旧状況について、情報を更新しましたのでお知らせします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000041415.pdf

3. 関東地域全域で ITS スポットサービスが始まります

東日本大震災により延期していた区間のサービスを7月14日から開始しましたのでお知らせします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku_00000336.html

4. 第30回川の写真コンクール開催

川の写真コンクールは、河川愛護月間※の一環として、河川愛護思想の普及と啓発をはかるため、関東地方整備局管内の小学生、中学生及び高校生を対象に、川の写真を応募していただくものです。

昭和56年から続くこのコンクールは、今年で30回目を迎えます。昨年度は8,000点以上の作品が集まりました。今年もたくさんの応募をお待ちしておりますのでお知らせいたします。

※河川愛護月間とは、河川愛護の意識の醸成を目的とし、河川の安全で適切な利用、管理の促進や、良好な河川環境の保全・再生を推進するための活動等を行うもので、毎年7月に実施しています。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kyoku_00000323.html

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 「東日本大震災を踏まえた緊急提言」について

第7回高速道路のあり方検討有識者委員会において、「東日本大震災を踏まえた緊急提言」をとりまとめ、国土交通大臣に提出されましたので、お知らせします。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000186.html

2. XバンドMPレーダの降雨観測情報の一般配信の開始について

近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）による水害や土砂災害等に対し、適切な河川管理や防災活動等に役立てるために、国土交通省では、局所的な雨量をほぼリアルタイムに観測可能なXバンドMPレーダの整備を進めています。

平成22年度に新たにXバンドMPレーダを設置した6地域（栗駒山周辺、新潟、岡山、広島、九州北部、桜島周辺）について、試験運用による降雨観測情報の一般配信を7月1日から開始します。（栗駒山周辺地域の観測範囲には、東北地方太平洋沖地震に伴い地盤が沈下した太平洋沿岸地域の一部が含まれております。）のでお知らせいたします。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/river03_hh_000356.html

3. 第35回「水の日」・「水の週間」行事の概要

「水の日」（8月1日）及び「水の週間」（8月1日～7日）は、水資源の有限性、水の貴重さや水資源開発の重要性等に対する国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年5月31日（閣議了解）に制定されています。

国土交通省は、今年のテーマを「水の恵み ～東日本大震災を機に考える～」としまして、この期間に、関係府省や都道府県、関連団体等と連携しまして、全国的に水に関する啓発行事を実施しておりますので、行事の概要をお知らせいたします。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/water01_hh_000060.html

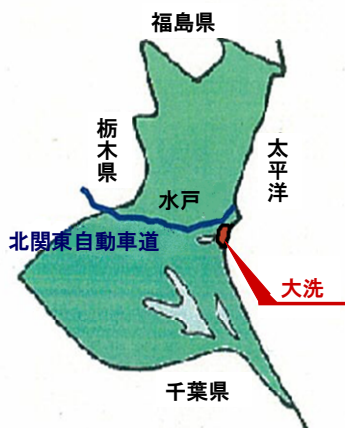
◆◆地域の動き◆◆

「海水浴シーズンにおける水戸大洗インターチェンジ周辺道路の交通対策」について

茨城県土木部 道路建設課
大洗町 都市建設課

1 はじめに

大洗町は、茨城県太平洋岸のほぼ中央にあり（北緯約 36 度、東経約 140 度）、面積は 23.19 km²で、東京から約 100 km、県都水戸市の中心部（水戸駅）から南東に約 11 km の距離に位置しています。また、同町は本県の内陸地方と比較して、冬暖かく夏涼しい温和でしのぎやすい気候であり、アクアワールド茨城県大洗水族館や大洗サンビーチ海水浴場をはじめとする観光資源などに恵まれ、年間約 560 万人にも及ぶ観光客が訪れる県内有数の観光地となっております。



しかしながら、夏の海水浴シーズンにおいては水戸大洗 IC 周辺の国道 51 号で慢性的な渋滞が発生し、またその影響により周辺の県道、町道等においても混雑が生じるなど、地域住民の生活に大きな支障をきたしていたことから、その対応が課題となっております。



アクアワールド茨城県大洗水族館



出会いの海の大水槽



大洗サンビーチ海水浴場

このような中、平成20年12月に北関東自動車道の東北道・常磐道間が全線開通したことにより、一層多くの観光客が来訪し、さらに深刻な混雑の発生が見込まれたことから、早急な渋滞対策が必要となりました。そのため、平成21年3月に国土交通省常陸河川国道事務所やNEXCO 東日本水戸管理事務所、茨城県、関係市町村等で「水戸大洗 IC 周辺交通問題対策連絡調整会議」を設置し、渋滞緩和に向けた検討を重ね、関係機関の協力のもと、以下のとおり交通対策を実施しました。

2 対策概要

(1) ハード対策【H21 年度実施】

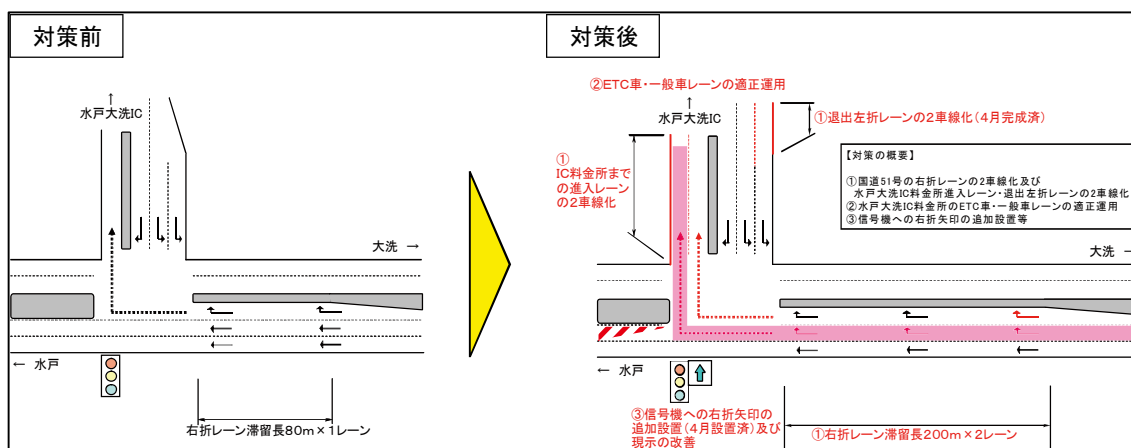
○国道51号水戸大洗 IC 交差点の改良

国道51号水戸大洗 IC 交差点における右折レーン数を1車線から2車線に増やすとともに、滞留長を80mから200mに延長しました。

また、ドライバーの視認性向上を図るため、路面標示を色分けするなど、国道51号の交差点改良を実施しました。さらに、これに併せて IC 料金所進入路や退出路の車線数をそれぞれ2車線化し、さらに信号機への右折矢印の追加や信号現示の改善（右折時間の延長）を実施しました。



改良後の国道51号水戸大洗交差点



国道51号水戸大洗交差点における対策の概要

(2) ソフト対策【H21 年度、H22 年度実施】

○迂回路の設定

大洗市街地から水戸大洗 IC 方向に集中する帰宅車の交通を分散させ、隣接する水戸南 IC に誘導することで大洗市街地の渋滞緩和を図るために、下記のソフト対策を実施しました。

① 案内チラシの配布

水戸南 IC の利用を呼びかけるため、同 IC への迂回路の案内や、水戸大洗 IC 周辺道路の混雑予想を案内するチラシを作成しました。

この案内チラシは高速道路 PA・SA や町内の観光施設等で約 6 万部配布しました。



水戸南 IC への案内チラシ

② 案内表示等の充実

迂回路にある案内標識について、往路は「大洗」を、復路は「水戸南 IC」をそれぞれ追記しました。また、海水浴シーズン期間中、補助的に誘導看板を設置し、案内チラシが無くても円滑に移動できるようにしました。



誘導看板の設置

③ その他

右折車両を要因として慢性的に混雑している箇所や、観光施設の駐車場出入口などにおいて、所轄警察署や大洗町による立哨活動を実施しました。

また、これらの交通対策については、マスコミ等への情報提供やホームページによる PR を適宜実施し、広く周知に努めました。



交通対策位置図

3 対策の効果

国道51号水戸大洗 IC 交差点における渋滞はほぼ解消しました。また、大洗町海岸部から水戸大洗 IC までの所要時間が大幅に短縮されました。

○水戸大洗 IC 交差点における最大渋滞長が、対策前に比べ約1.2km 減少。

[H20年度：4.0km → H22年度：2.8km]

○渋滞区間の最大通過時間が、対策前に比べ約52分短縮。

[H20年度：70分13秒 → H22年度：17分55秒]

○大洗町中心部から水戸大洗 IC への平均旅行速度が約2倍に向上。

[H20年度：4.5km/h → H22年度：10.2km/h]

測定結果

	対策前(a)	対策後		比較 (b-a)
	平成20年8月	平成21年8月	平成22年8月(b)	
①交通量(台/12h)	11,312	14,810	15,380	—
②最大渋滞長(m)	4,000	1,650	2,800	△1,200
③渋滞区間の最大通過時間	70分13秒	16分21秒	17分55秒	△約52分
④平均旅行速度(km/h)	5	13	10	約2倍(b/a)

(注1) ①～③は全て国道51号水戸大洗 IC 交差点（下り方向）における測定値

(注2) ④は大洗町中心部から水戸大洗 IC までの平均値

対策前後における国道51号の状況



対策実施前



対策実施後

4 おわりに

大洗町は県内有数の観光地であり、毎年海水浴シーズンには県内外から多くの観光客が訪れ、周辺道路に慢性的な渋滞が発生していましたが、国・NEXCO・県・市の関係機関が連携しハード・ソフト一体となった対策を行った結果、渋滞の解消が図られました。

本年は東日本大震災により、一時期は大洗町の多くの観光施設が休止となっておりましたが、4月1日にアクアワールド茨城県大洗水族館が、7月16日に大洗リゾートアウトレットが営業を再開するなど、徐々に施設の復旧が進み、同16日には大洗サンビーチの海開きを行うなど観光客の受け入れ態勢も整いました。また、本年3月19日の北関東自動車道の全線開通により、観光面における北関東3県の交流がさらに拡大し、栃木県や群馬県などからの観光客の増加が期待されているところです。

今後とも大洗町をはじめとする県内観光地において、関係機関と連携し引き続き交通円滑化に取り組んでまいります。